

社会の多様性・異文化を体験し知識の創造を目指す サービス・ラーニングの実践



DIY:キャンパスの道路補修(1960年頃)

2016年3月5日

私立大学情報教育協会
アクティブ・ラーニング対話集会

於 私学会館

国際基督教大学 西尾 隆

簡単な自己紹介から



国際基督教大学のキャンパス

- 1955(昭30)年広島県生れ、修道中・高を経て
- 国際基督教大学(ICU)教養学部社会科学科卒
- ICU大学院行政学研究科博士課程修了(学術博士)
- ICU教養学部専任講師、助教授、準教授を経て
1998年より教授 2009～2013 教養学部長
2005-06年, 2015～ サービス・ラーニングセンター長
- (この間) 1989-91年 米国プリンストン大学客員フェロー
2000-01年 英国ロンドン大学(LSE)客員研究員
自治大学校客員研究官、参議院調査室客員研究員など
- 専攻: 行政学・地方自治論・公共政策
- 近著に『現代の行政と公共政策』放送大学テキスト、2016(編著)
- 最近の研究テーマ: 公務員制度改革、官僚制の国際比較
林業の地産地消、刑務所管理、自治体計画など

アウトライン

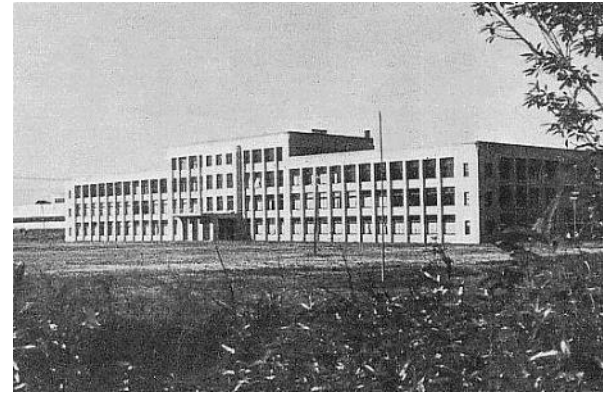
はじめに

1. サービス・ラーニング(S-L)とその周辺
2. 教養学部のカリキュラムとS-L
3. 「多文化共生」を共通テーマにした事例

おわりに

- * 学生による2015年夏のサービス・ラーニング
活動報告：国際S-L(香港)/ コミュニティS-L(天龍村)

はじめに



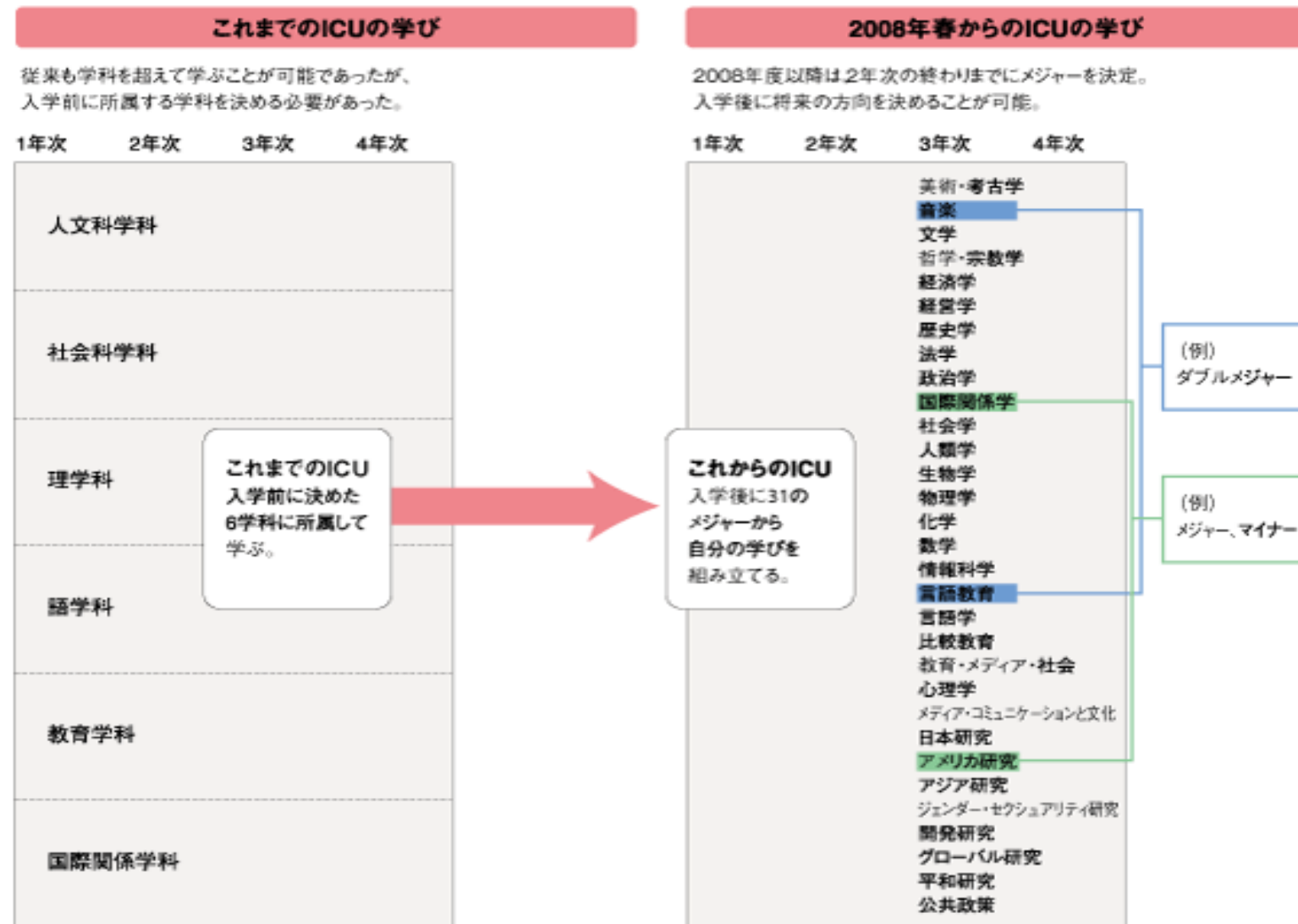
1953年開学当時のICU本館

- ・ ICU創立の理念と
リベラルアーツ
 - － 「神と人に奉仕する人材」の育成
“Serve the Lord and People”
 - － “Later specialization”

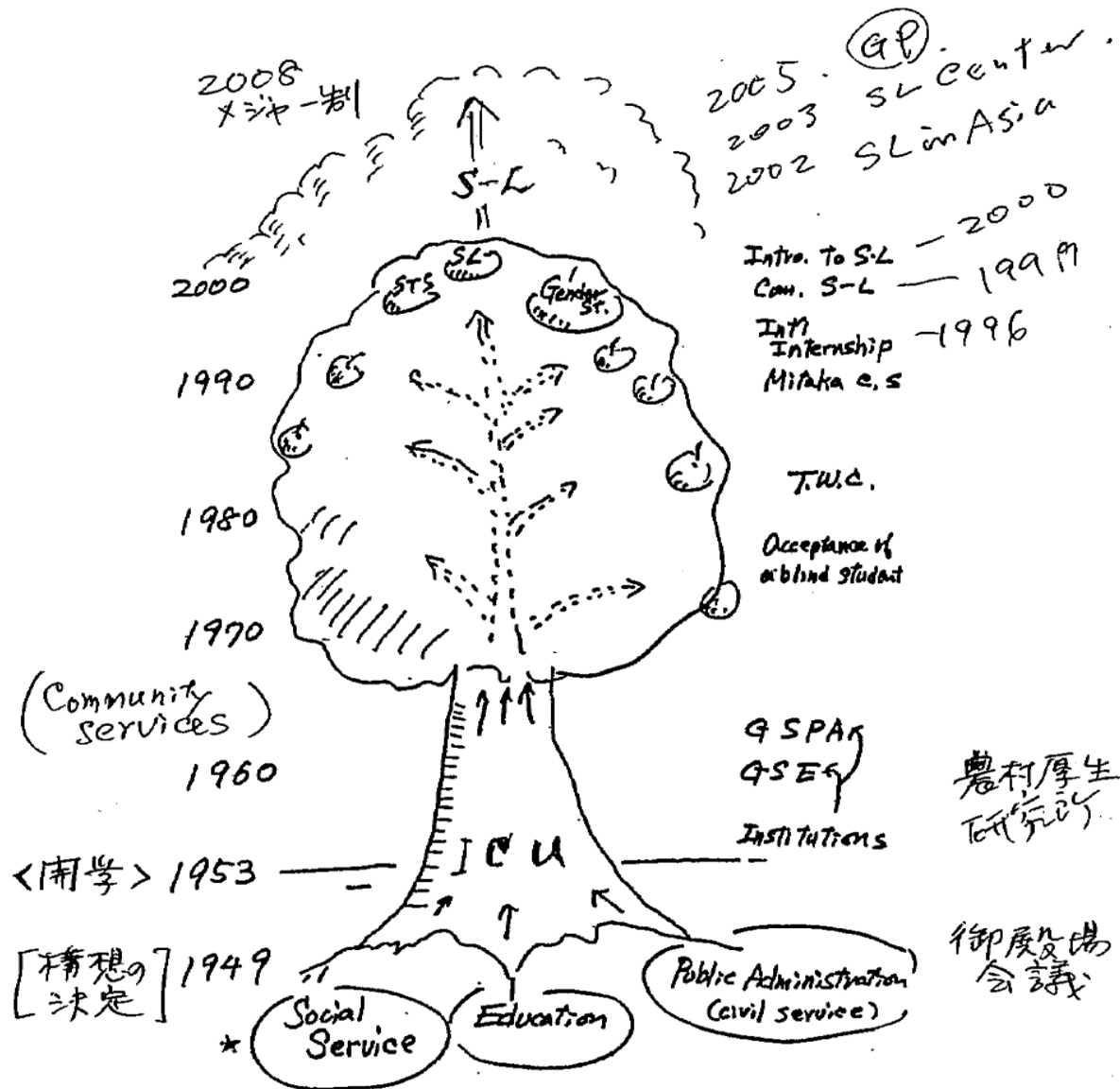
- ・ メジャー制度導入（2008年）とその考え方
 - － 入学後に専攻を決める（31メジャーから）
 - － 「行動するリベラルアーツ」（新しい理念）
 - － 「責任ある地球市民」

6学科から31メジャーに

図表 [5] ICUにおける2008年度からの学びの在り方



ICU創立からS-L制度化への道程

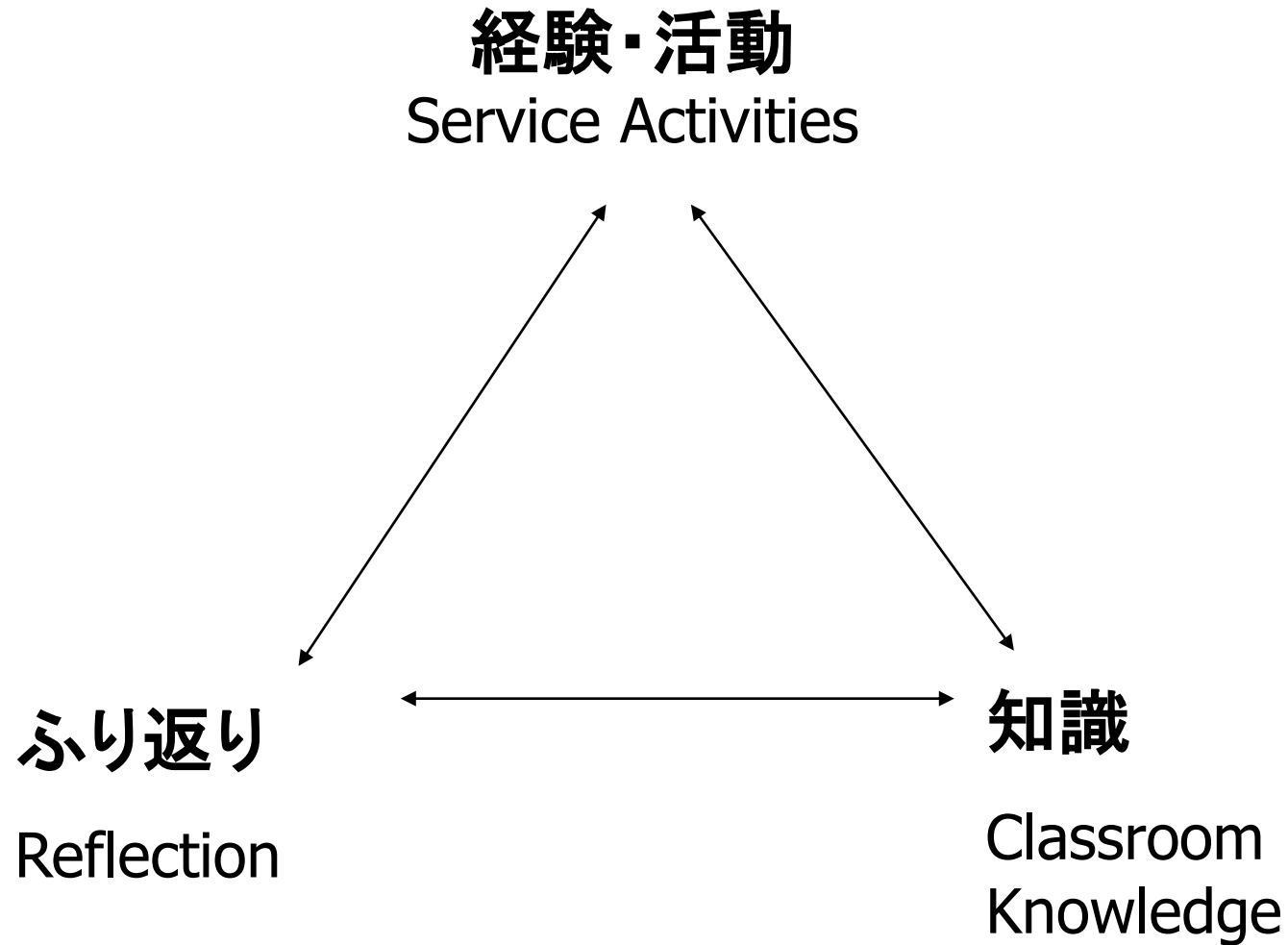


1. サービス・ラーニング (S-L) と その周辺

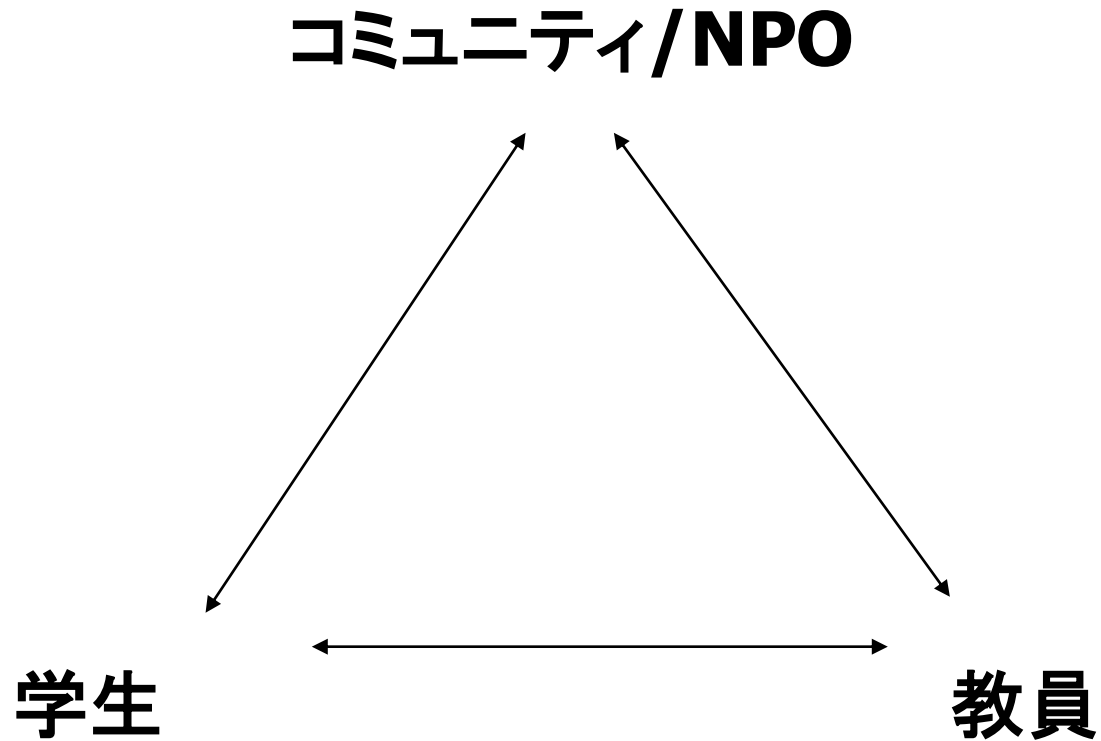
- ・ 国際インターンシップ(1996)からS-Lへ
 - － 基礎にあるコミュニティ・サービス
 - － 教会主催のタイ・ワークキャンプ、実習の伝統

- ・ サービス・ラーニングのエッセンス
 - － 知識・経験・ふり返りの相互作用
 - － 学生・教職員・コミュニティの連携

サービス・ラーニングの3要素



サービス・ラーニングを通じた対話と連携



2. 教養学部のカリキュラムと サービス・ラーニング

- カリキュラムの中でのS-Lの位置づけ
 - 「S-L」の語は1999年より使用(コミュニティS-L)
全学共通プログラム * 入門コースは当初一般教育科目
 - (春)S-L入門 + 準備コース(2 + 1単位)
 - (夏)実習＝国際S-L/コミュニティS-L(共に3単位)
活動は約30日間。成績評価は秋提出のリポートで
 - (秋)ふり返り科目「サービス経験の共有と評価」
(1単位) * プレゼン
 - * (冬)「サービスラーニング特別研究」開講の年も(2単位)

カリキュラムとS-L(続き)

- 専攻の決定とサービス・ラーニング

- 以前は主として3年生が実習
- 現在は2年生が中心

(専攻決定の時期: 実習後、2年次末に)

* 履修者は毎年50人前後 (国際 > コミュニティ)
(女子 > 男子)

- S-Lと親和性の強いメジャー

- 開発研究、国際関係学、教育学、政治学
社会学、公共政策など

カリキュラムとS-L(続き)

- メジャーごとに工夫の余地
 - 教育学と子育て支援(興望館)
 - 公共政策と自治体インターン
 - 環境研究と環境NGO(環境持続社会研究センターなど)
(海外では)
 - 歴史学とオーラルヒストリー
 - 工学と簡単な土木事業
 - 看護学と保健指導
 - 物理学と漏電チェック
 - 経営学とキャンパス内の露店経営(シリマン大)



興望館



一日サービス・ラーニング: キャンパスの「緑のボランティア」



3. 「多文化共生」を共通テーマにした事例

- フィリピン・インド・マラウイでの
「モデル・プログラム」(2007-09)
(文科省「戦略的国際連携支援」採択事業)
 - 異国で多国籍チームによるサービス活動
 - 6か国から参加(日・韓・台・比・印・香港)



S-L Asia Network (SLAN)

アジア(アフリカ)のパートナーシップ

(年度により提携先に変更があります)



活動の様子: フィリピン(上)とインド(下)



「多文化共生」の事例(続き)



- 地元学生にとって:
コミュニティ・サービスと通訳・媒介
- 外国人学生にとって:
国際サービス・ラーニングと異文化交流
- 体で覚える「機能的寛容」(村上陽一郎)
 - チームワーク・人間関係の課題
 - リーダーシップと“Do not judge”
 - 現場で感じるニーズと「開発」理論の落差

おわりに

S-L学生の卒論から：

（S-L経験から得られた卒業研究の視座の例）

- － 政治学：フィリピンで知った「コミュニティ」と
日本の市民社会・市民活動
- － 行政学：三鷹市インターンとまちづくり研究
- － 教育学：福祉施設でのサービスと留学経験から
「教師の多忙」の研究 など

おわりに

- 「知識の創造」にむけて
 - 曇りなき眼で見た現実と「理論」の乖離
 - ダイナミックに変化する真理を追究する



ご清聴ありがとうございました。
学生のプレゼンに移ります。

